

出席者（敬称略）：アイネットやまと（後藤、矢澤）アイネット中央林間（松尾）、ワーカーズ・コレクティブ想（国友・大内他）、ダームメディカルケアサービスつきみ野（棚井・日暮）、大和市障害者地域生活支援ネットワーク（山岸）、大和市身体障害者福祉協会視覚部（鳥原・高橋みや）、大和市身体障害者福祉協会肢体不自由部（高橋正）、大和市肢体不自由児者父母の会（平岡）、大和市腎友会（森）、神奈川県立三ツ境養護学校（立林）、大和保健福祉事務所（富岡）、大和市社会福祉協議会（榎本）、大和市障害者自立支援センター（佐藤）、大和市障がい福祉課（笹岡、山本）、福田の里（関水、星野、田邊）

### 1、はじめに

身体障害部会では昨年度、「移動支援についての課題解決」へ向けて、大和市障がい福祉計画策定委員会への意見具申に向けた提言を行った。

今年度はその継続検討課題として「送迎・移動支援に関する課題検討について」をテーマに、「必要な時に安心して移動できる地域支援の仕組みづくり」について検討を重ねた。フォーマル、インフォーマルの社会資源及び施策等の活用を視野に、両面からこの課題解決に向けて検討を行っている。

### 2、活動内容

今年度は、引き続き事例検討を行い、通学支援や放課後支援の課題を共有するため、特別支援校や市内の特別支援級の生徒数等の確認を行い、通学支援や放課後支援の方向性について検討した。

県内の一部の市では既に通学送迎支援を移動支援の対象としている事例もある。また、「移動支援施策再構築プロジェクト」を推進する横浜市から担当係長を招聘し、プロジェクトの報告と意見交換を行った。

年度末には市内の 2 地域（地区社協単位）を対象に、通学に関する困りごとについて身近な地域で話し合いの場が持てるように地域懇談会の開催を予定している。

### 3、地域懇談会実施に向けて

市内 11 地区の地区社協のうち中央地区と下鶴間地区をモデル地区として選定し、障害児の保護者、ボランティア団体、居宅事業所等が参加して、下記の内容で懇談会を開催する。

日時：①平成 23 年 3 月 12 日（土）10:15～12:00（中央地区）

②平成 23 年 3 月 19 日（土）10:15～12:00（下鶴間地区）

場所：①下草柳コミュニティーセンター 集会室

②大和市保健福祉センター 4F 集会室

対象：中央地区、下鶴間・つきみ野地区の小中学校の特別支援級及び当該地区住居の養護学校の小中高等部に在籍の保護者、ボランティア団体、居宅事業所。

内容：児童の通学の現状と困っていること、どうしたら解決できるのか等を話し合う。

#### 4、まとめ

大和市には、市内のすべての小中学校に特別支援級が設置されており、市内には11の地区社会福祉協議会がある。県域の他市町村と比較すると障害福祉サービス事業所も数多くあり、公共交通機関の利便性も良い環境にある。地域懇談会等の開催によって、通学支援の課題を多くの関係機関や当事者団体の方と共有し、上記の優れた地域特性を活用して通学支援の課題解決へ繋げる。

以上